

各 位

上場会社名 株式会社 岡山製紙
代表者 代表取締役社長 津川 孝太郎
(コード番号 3892)
問合せ先責任者 取締役管理本部長 妻鹿 徹
(TEL 086-262-1101)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2019年12月27日に公表した2020年5月期通期の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2020年5月期通期個別業績予想数値の修正(2019年6月1日～2020年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,000	1,030	1,080	760	153.74
今回修正予想(B)	10,000	1,150	1,200	840	169.92
増減額(B-A)	0	120	120	80	
増減率(%)	0.0	11.7	11.1	10.5	
(ご参考)前期実績 (2019年5月期)	10,030	752	804	533	107.86

修正の理由

2020年5月期第3四半期累計期間の業績につきましては、板紙事業において国内経済の減速に伴い、1%前後の成長を続けてきた段ボール生産面積が2019年は前年比でマイナスとなり、当社の主要製品である段ボール原紙(中芯原紙)の販売数量は減少しました。その結果、前年同四半期と比べ若干の減収となる見込みです。

一方で、原料古紙については中国向け輸出が環境規制の影響で引き続き減少しており、国内の古紙流通量及び価格が安定しているため、当初計画より原料費が下がり、利益を押し上げる要因となりました。また、板紙製品価格の改定が浸透して販売数量の減少に比して減収が小幅に抑えられていることや主な燃料であるLNGの価格が安定して推移していることも利益増の要因になっております。

2020年5月期通期累計期間の業績につきましては、以上の状況から予想を上回る見込みです。

なお、当業績予想においては、新型コロナウイルス感染症の流行拡大による影響を具体的には前提にしておりません。これは当社製品の販売先や調達先はそのほとんどすべてが日本国内であり、直近では業績や事業運営に大きな影響を受けてはいないためであります。

ただし、今後流行の拡大に伴い世界経済が停滞することで、国内での当社製品の需要減少や、原料他資材の調達が困難になるなどの影響が出ることも考えられるため、状況を注視してまいります。

(注)本資料に記載されている業績予想に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後種々の要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上